

7. ビニールハウス冬どり葉菜類播種期について

1. 背景と特徴

ビニール周年利用の一環として、秋冬利用による葉菜類（山東菜，ほうれんそう，シュンギク）の播種期を検討した。

2. 技術内容

無加温ビニールハウスでの葉菜類について、12月から1月収穫目標の種類別播種適期は、下記のように考えられる。

- 1) 山東菜 10月下旬～11月下旬
- 2) ほうれんそう 10月上旬～中旬
- 3) シュンギク 9月下旬～10月上旬

3. 普及上の留意点

- 1) 各葉菜類とも発芽が揃うよう充分灌水を行う。
- 2) 12月下旬以降ハウス内最低気温が0℃近くに低下するような場合は、ビニールトンネル及びビニール＋シルバービニール等で二重被覆をする。
- 3) 適応地域：沿岸地域及び県南地方

4. 試験成績の概要

- 1) 試験課題名 「冬どり葉菜類播種期試験」
- 2) 試験年次及び場所 「昭和50年」南部分場
- 3) 試験区

播種期 供試作物	9月25日	10月25日	11月25日	12月25日	1月25日	10a当りの 播種重
山東菜	○	○	○	○	○	1.5ℓ
ほうれんそう	○	○	○	○		9.0ℓ
シュンギク	○	○	○			15.0ℓ

注 (1) 供試ハウス ひかり54型 (660 m²)

(2) ビニール被覆は (12月27日)

- 4) 播種条件 畦巾 180 cm, 床巾 120 cm, 条間 12 cm 条播
- 5) 区面積及び区制 1区 3.3 m² 2区制
- 6) 供試品種 山東菜, ほうれんそう (大平洋), シュンギク (中葉)

5. 試験結果

各作物別収穫期については、下記のように認められた。

1) 山東菜

9月25日播種では11月 1日 10月25日播種では2月 7日
 11月25日 " 2月15日 12月26日 " 3月17日
 1月25日 " 4月 3日であった。

2) ほうれんそう

9月25日播種では11月18日 10月25日播種では2月 7日
 11月25日 " 3月17日 12月25日 " 3月31日

3) シュンギク

9月25日播種では11月12日より、10月25日播種では12月27日より
 11月25日 " 3月18日であった。

6. 主要成果の具体的データ

第1表 生育及び収量成績(総収量)

供試作物	播種期	区当り Kg	a当り Kg	草丈 cm	葉数	葉巾 cm	収穫期 月日	収穫開始 迄の日数	収穫 回数
山東菜	9月25日	4.9	147	20.4	5.1	9.2	11.1	37	1
"	10月25日	5.0	150	19.9	5.1	9.0	12.10	46	1
"	11月25日	4.8	144	20.9	6.3	7.3	2.15	82	1
"	12月25日	3.8	114	22.0	7.9	7.7	3.17	82	1
"	1月25日	4.0	120	22.5	6.9	8.3	4.3	69	1

ほうれんそう	9月25日	7.5	222	21.3	7.6	7.0	11.18	54	1
"	10月25日	8.1	242	18.2	10.6	6.6	2.7	105	1
"	11月25日	10.0	300	24.1	11.3	9.6	3.17	112	1
"	12月25日	8.3	249	17.5	9.4	10.0	3.31	96	1

シュンギク	9月25日	16.0	480	18.8	8.8		11.12 ~3.31	48	6
"	10月25日	10.1	303	16.4	7.9		12.27 ~3.31	63	3
"	11月25日	5.9	177	18.0	13.2		3.18	113	1

第2表 シュンギク時期別収量(33m²当kg)

收穫期 播種期	11/12	11/27	12/17	12/27	2/20	3/18	3/31
9月25日	27	27	23	18	15	—	5.0
10月25日				22	21	—	5.8
11月25日						5.9	

第3表 南部沿岸地方の外気最低温度(大船渡測候所 49秋~50年春)

11月上旬	3.4	12月上旬	-1.6	1月上旬	-4.6	2月上旬	-4.0	3月上旬	-1.7
中	1.3	中	-1.0	中	-3.7	中	-4.7	中	-1.8
下	0.6	下	-2.8	下	-2.5	下	-2.6	下	2.2

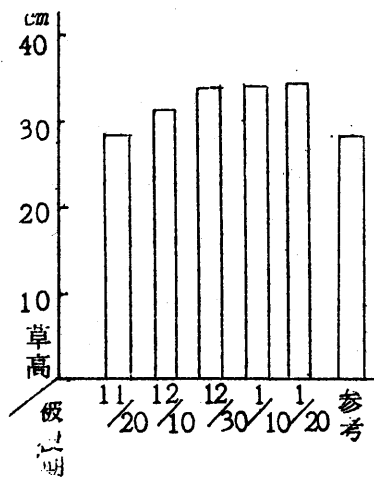
1. 生育調査(10株平均) 第1表

項目 被覆時期	2月4日調査		3月6日調査		4月23日調査			花房数 (1株当) 本	着花数 (1株当) コ	開 花 始 日	成 熟 始 日	芽 枯 病 株 率 %
	新葉 生葉数	左の最大葉 葉身長×葉巾 cm cm	草高 cm	破芽数 コ	草高 cm	葉柄長 cm	最大葉 葉身長×葉巾 cm cm					
11月20日	3.7	6.9 × 5.5	5.6	1.4	28.3	22.5	10.4 × 9.3	3.8	34.7	3/12	4/30	10.7
12月10日	3.7	6.2 × 5.3	4.7	0.8	31.7	23.3	10.9 × 10.4	3.7	37.3	3/15	"	0
12月30日	3.7	6.3 × 5.1	5.2	0.4	33.5	25.3	11.0 × 9.8	3.5	37.3	3/15	"	3.6
1月10日	3.3	5.7 × 4.9	5.2	0.5	34.0	25.7	11.0 × 10.4	3.6	31.5	3/15	"	0
1月20日	3.2	5.4 × 4.5	3.7	0.4	34.4	26.9	11.5 × 10.5	3.4	30.9	3/16	"	0
参考(11.20)	4.3	6.3 × 5.7	5.7	1.6	28.4	20.5	10.2 × 9.2	4.4	39.8	3/12	4/28	14.3

参考調査 第2表

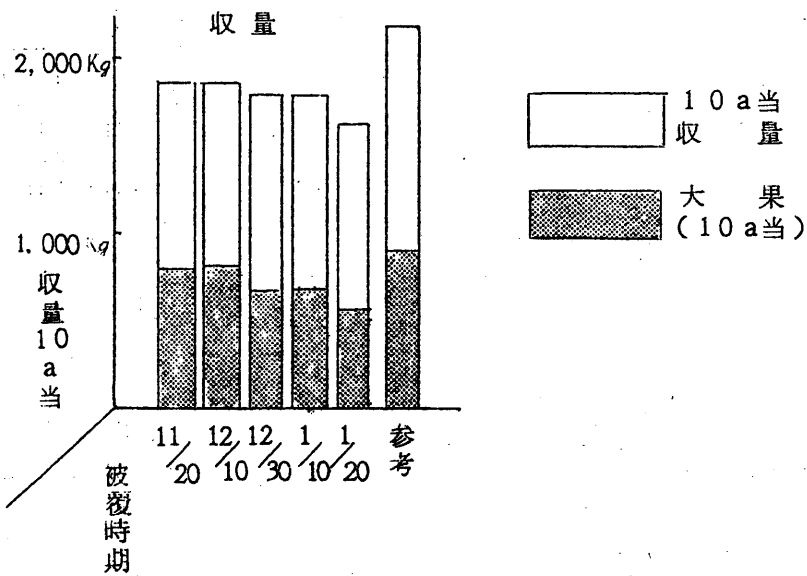
項目		花房数 (1株当)	着花数 (1株当)
定植時から屋根ビニールのかかっているところ(側面はなし)	冬枯れなし	5.2本	45.9コ
	冬枯れ甚	5.2	36.8
自然状態で冬枯れ甚		2.1	16.6

草高(4月23日調査より)



2. 収穫調査 第3表

項目 被覆時期	販売可能果(良果) (1.8 m ² 当)							屑果 1.8 m ² 当		販売可能果				
	L g	M g	S g	S S g	A g	B g	計		個数コ	重量g	平均重量 g	大果率 %	良果率 %	10 a当 換算収量 kg
							個数コ	重量g						
11月20日	572	665	1,073	793	93	59	294	3,255	57	299	11.1	40.9	91.6	1,861
12月10日	556	742	933	790	89	143	301	3,253	86	404	10.8	42.6	89.0	1,860
12月30日	422	781	904	784	130	159	299	3,180	98	486	10.6	41.9	86.7	1,818
1月10日	411	660	966	834	142	163	294	3,176	103	431	10.8	38.2	88.1	1,816
1月20日	456	450	865	783	131	173	271	2,858	92	437	10.5	36.3	86.7	1,634
参考(11.20)	627	844	1,234	885	107	179	357	3,876	99	480	10.8	40.7	89.0	2,216



5. 今後の問題点

6. 次年度の計画

(1) 内部保温時期との組み合わせ